



「アナログな行き方」

地域医療連携室長 千葉実行

祝祭都市パリの歴史的建造物を舞台に繰り広げられたパリオリンピック・パラリンピックもついに幕を下ろし、各国の選手たちが繰り広げたドラマに胸躍らせる日々の余韻が未だ冷めやらぬ今日この頃ですが、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか？

さて、私共盛岡医療センター地域医療連携室は今年度6月末から7月末まで約1か月間をかけて、58か所の盛岡市医療圏内の連携医療機関・施設を訪問し、挨拶回りをさせていただきました。私も20施設ほど同行致しましたが、皆様御多忙のところお時間を割いていただいた上に、心のこもった励ましの言葉をかけていただき、心より感謝申し上げます。いずれの御施設におかれましても創意工夫を凝らして地域医療を支えていこうという気迫・気概をしっかりと感じ取ることができて、我々もとても良い刺激を受けて「よし、早速明日からの活動に活かしていこう」と、決意を新たに致しているところです。また、訪問活動終了後の7月25日には第8回地域医療懇談会を開催し、23施設24名の先生方、職員の皆様とフェイストゥフェイスで意見交換する貴重な機会を持つことができました。これらの取り組みを通して、連携・コミュニケーションには現場を知る・見る・現場を支えておられる人達に会う、というアナログ的な要素が不可欠であることを再認識致しました。コミュニケーションには「意味」と「意識」が大切です。「意味」はデジタルツールでも伝わりますが「意識」を伝えるには面と向かってお会いして話すのが一番です。計画は同じでも「意識」の差が物事を徹底させること・アウトカムに影響してくると思うのです。今後はより多くの御施設に（診療の邪魔にならない程度に）足を運んで参りたいと思っておりますので、その節は是非忌憚のないご意見をお聞かせいただけましたら幸いです。

その挨拶回りの際に一つ嬉しいことがございました。県立中央病院を訪問させていただき、2024年度の当院での救急患者受け入れ実績の伸びについて御説明申し上げたところ、「最近当院ではCOVID-19パンデミックの頃の癖が抜けずに「これは軽症だからウチじゃないな」と救急車を断る傾向が気になっていました。このデータを共有させて下さい」とおっしゃっていただき、翌日電子カルテ上で「盛岡医療センターが頑張っているから当院も頑張ろう！」という旨のメッセージを発信していただけたのです。

(次頁へつづく)

- 病院理念● 生命を尊重し、地域の人々に安心・信頼される医療を提供する
- 基本方針●
 - ①安心・安全な医療を提供します。
 - ②病病連携・病診連携を通して地域医療に貢献します。
 - ③専門的な知識と技術、倫理観を備えた職員を育成します。
 - ④職員は互いに尊重・補完しあい、協働し良質な医療を提供します。
 - ⑤信頼される医療を提供するための経営の健全化を図ります。

当院の先生方、スタッフの頑張りが県立中央病院の皆様にも認めていただけたのは勿論嬉しかったのですが、それに加えてCOVID-19を経て「分断」に向かうか「連帯」に向かうか、大きな分岐点にあった我々が、「連帯」に向けてゆっくりと確実に舵を切りつつあることが実感でき、感無量でございました。

今後も我々を取り巻く医療環境は刻々と変化し、そのスピードはますます加速していくことが予想されます。限られた医療資源をいかに持続的かつ有効に機能させて盛岡市医療圏の診療機能を維持していくか、この問いに対して私たちの柔軟で臨機応変な対応が今までに増して必要とされていくことでしょう。盛岡市医療圏の医療を支えている私たちが全体のヴィジョンを共有しつつ各々の医療機関に与えられた役割を全うしていくためには、今後「連携」「連帯」が益々重要なキーワードになります。当院は今後も皆様との病診・病病連携、介護福祉施設との連携を円滑に進めて、患者様・御家族・地域の皆様からの期待にお応えすべく努力して参る所存でございますので、今後とも当院への御支援を宜しくお願い申し上げます。

第8回地域医療懇談会を開催しました

管理課長 齊藤 晃

令和6年7月25日（木）に、メトロポリタン盛岡NEW WINGを会場に第8回地域医療懇談会を開催しました。

昨年の第7回は新型コロナウイルス感染症の5類移行後ということもあり、4年ぶりに感染対策を施しながら開催しましたが、本年も引き続き感染対策に努め無事に開催することができました。

この懇談会は、地域医療の連携強化を目的に行っておりまして、地域の先生方24名及び、当院スタッフ48名の総勢72名が参加しました。

木村院長の挨拶で始まり、「地域医療連携状況報告」というテーマで、周辺医療機関とのつながりについて、当院の千葉地域医療連携係長が当院の現状と神経内科からのお知らせや、当院が新たに施設基準の取得を考えている「地域包括医療病棟」について発表しました。

その後は、当院地域医療連携室のメンバー紹介をさせていただきました。

続いて、循環器内科の高橋医長より講演を行いました。「高齢者入院と循環器診療」というテーマで、各種疾患についての説明と実際の症例を紹介しました。30分を超える熱弁で、当院には、このような珍しい症例の患者さんがいるんだと、あらためて認識させられたところでした。

その後、会場を移し意見交換会を行いました。ゆとりが丘クリニックの高橋邦尚先生の挨拶と乾杯のご発声で始まりました。昨年の始まりはマスクを外すことにためらい、皆さんなかなか飲み物や食べ物を口に運ばなかった印象でしたが、今年は直ぐにマスクを外し飲食しながら歓談できたという印象をもちました。

当院は、地域のクリニックの先生方と「顔の見える関係」を大切にしております。懇談している状況を見ておりますと、連携の輪の広がりが感じられ、双方で支え合っていくことの大切さを実感できた懇談会だと思えました。

最後に千葉副院長の御礼の挨拶で閉会となりました。皆様のご協力により成功裏に終えることができました。

ご参加された皆様ありがとうございました。



講演会



司会 猿子MSW



開会挨拶 木村院長



講演参加者



講演 千葉地域医療連携係長



講演 高橋循環器内科医長



地域医療連携室 スタッフ紹介

意見交換会



司会 太田経営企画室長



ゆとりが丘クリニック
高橋邦尚先生によるご挨拶と乾杯のご発声



意見交換会参加者



歓談中



歓談中



閉会挨拶 千葉副院長

国立病院機構盛岡医療センター 診療担当医一覧表

令和6年10月1日現在

【外来診療受付時間】 月～金曜日：8:30～11:00（急患については随時対応）

【電話による予約受付時間】 月～金曜日：13:00～17:00 **専用電話：019-645-4564**

診察ご希望の方は、下記の曜日、時間等をご確認の上、ご予約ください。

診療科目	新・再別	月	火	水	木	金	
呼吸器内科／ 一般内科	午前	新患・再来	高原政利	木村啓二	高原政利	山田博之	☆東北大学 呼吸器内科医師
			山田博之	只左一也	只左一也	木村啓二	
	午後	新患・再来 (急患のみ)	高原政利	山田博之	只左一也	肥田親彦	高橋 信
循環器内科	午前	新患・再来	肥田親彦	高橋 信	高橋 信	肥田親彦	☆東北大学 循環器内科医師
	午後	新患・再来	—	—	—	—	【ペースメーカー外来】 肥田親彦 (第2・4週、14:00～15:00)
糖尿病内科	午前	新患・再来	—	—	☆岩手医科大学 糖尿病・代謝内科医師	—	—
	午後			☆岩手医科大学 糖尿病・代謝内科医師 (第2・4週)	—		
消化器内科	午前	新患・再来	☆工藤典重	☆穴倉かおり	—	—	☆仙台医療センター 消化器内科医師 (第2・4週)
脳神経内科	午後	新患・再来	村田隆彦	小原智子	小原智子	村田隆彦	【新患のみ】 (第2・4週)
リウマチ科	午前	新患・再来	千葉実行	千葉実行	千葉実行 ☆岩手医科大学 リウマチ・膠原病・ アレルギー内科医師 (第1・3・5週)	—	千葉実行 (最終週は休診)

※呼吸器内科・一般内科の午後外来は、新患・再来・予約外の急患について午後1時30分～3時30分の時間で診療を行います。

診療科目	新・再別	月	火	水	木	金	
整形外科	午前	新患・再来	大山素彦	大山素彦 (第2週は再来のみ)	【脊椎外来】 大山素彦 (紹介予約制) 午前9時～11時	本田剛久	本田剛久 (第1・2・3・5週)
			本田剛久	本田剛久 (第1・3・4・5週)			☆大竹高行
脳神経外科	午前	新患・再来	—	西川泰正 (第1・3・5週)	西川泰正	西川泰正	—

※整形外科の第2火曜日、第4金曜日は再来のみの受付になります。

診療科目	新・再別	月	火	水	木	金	
小児科 (消化器・アレルギー) 予約制	午前	新患・再来	佐々木美香	佐々木朋子	佐々木美香	—	—
	午後	新患・再来	佐々木美香	佐々木朋子	佐々木美香	—	—
			佐々木朋子	増本佳泰			

※小児科は消化器・アレルギー等の専門外来になります。

「☆」は、非常勤の先生です。

独立行政法人国立病院機構盛岡医療センター

岩手県盛岡市青山一丁目25番1号

病院代表 TEL 019-647-2195

FAX 019-646-1195

<https://morioka.hosp.go.jp/profession/index.html>

